

Collaborative Group of the Americas on Inherited Colorectal Cancer (CGA-ICC)に参加して～2017 年度トラベルグラント受賞報告

四国がんセンター 遺伝性がん診療科  
認定遺伝カウンセラー 金子景香

この度は、第1回のトラベルグラントをいただきましたことに、心より感謝申し上げます。海外経験の少ない私が、国際的な学術活動に目を向ける大きな契機となりました。

2016年10月2、3日に米国シアトルで開催されました、Collaborative Group of the Americas on Inherited Colorectal Cancer (CGA-ICC)の2016 Annual Meetingに参加してきました。本団体は、遺伝性大腸がんの基礎科学や臨床的なマネジメントの理解を深めることを目的として、1995年に設立されました。



遺伝性大腸がんの特化した学会のため、第一線の先生方から最新の情報を学ぶことができました。例えば、FAPやPJSの小腸病変の特徴など、教科書でも深くは触れない内容について、一歩進んだ議論がなされていたことは印象的でした。

今回初めて、国際学会でポスター発表を経験しました。四国がんセンターで開催してきた



「遺伝カウンセラーのための実践集中講座」の4年間の取り組みについての報告です。この取り組みは、大住省三先生や田村智英子先生をはじめ、多くの先生方のご指導、ご協力によって成り立っている講座ですが、各先生方にご指導いただき、僭越ながら発表する機会をいただきました。

国際学会に参加してみると、日本での遺伝性腫瘍の診療を客観的にとらえるチャンスにもなり、何よりもモチベーションが上がることを実感します。いずれは海外の遺伝カウンセラーとも交流を持てるように、臨床経験を積み、英語でコミュニケーションを取れる力を磨いていきたいと思っています。

参考：CGA ホームページ <http://www.cgaicc.com/>

会員登録すると、年会費制で年1回開催されているミーティングの発表スライドを閲覧できます。